

自転車を取り巻く利用環境観察 連載 ⑧ 「転倒の危険性がある路面」

自転車安全利用研究会 谷田貝一男

自転車の
転倒事故が
全国で増加
しています。
2021年は
5年前と比較
すると事故
件数は2・7
倍、自転車事
故全件数に対
する転倒事故
件数割合は

20・4%です。

転倒事故では特に幼児同乗時や高齢
利用者が大きな傷害を被ります。転倒
事故の原因には運転方法の他に道路状
況があります。今回は道路状況として
転倒事故が発生しやすい路面を紹介し
ます。

道路端の路面



写真1 道路面と側…間にある切れ目

道路端には
雨天時の雨水
を地下に排水
するための側
溝と排水溝が
設置されてい
ます。この周

辺を見ると、道路面と側溝との間には
切れ目（写真1）があり、タイヤが細
いロードバイクも前輪が切れ目に入る
と転倒の危険性があります。
側溝は傾斜しているためバランスを



写真2 側溝上にある排水溝

きの他に溝の大きさによっては前輪が
はさまって転倒の危険性があります。

凹凸がある路面



写真3 マンホール…が多数ある道路

路面上の凹凸
で特に注意が必
要な箇所はマン
ホールの表面の
わずかな傾斜や
デザイン部分、
メーターボックス

スや排水溝のふた（写真3）、視覚障
害者用点字ブロック（写真4）です。
この上を通行するとき、表面が濡れて
いると車輪が滑やすく、急ブレーキを
かけるとバランスが崩れやすく、転倒
の危険性があります。



写真4 視覚障害者用点字ブロック

自転車を運転
中は常に自動車
など周囲の車両
や歩行者の通行
状況を確認する
と同時に、転倒
防止のために路
面状況の確認も行ってください。